

筑後市スポーツ推進計画事業一覧

番号	行事名	対象者	事業の目的	事業の内容 (平成27年度)	課名
1	にこにこウォーキング教室	30歳以上の市民	ウォーキングに関する知識と技術を学び、楽しくウォーキングをすることで健康でいきいきとした毎日を過ごすことを目的とする。	市内3か所でウォーキング教室を開催。教室では、健康運動指導士により、健康講話・有酸素運動やウォーキング、筋力トレーニング等について指導を受けることができる。教室の開始時と3か月後の終了時に体力測定を行い、体力の変化を見る。	健康づくり課
2	みんなで歩こう！ にこにこウォーク	誰でも参加可能	ウォーキングを通して健康づくりを周知する。	「健康と食育の祭典」において、ウォーキングを実施する。コースは、サザンクス筑後と二川みんなの公園を往復する6kmコースと、サザンクス筑後と筑後船小屋駅を往復する10kmコース。	健康づくり課
3	筋力トレーニング教室	20歳から概ね65歳までの市民	若年層から生活習慣病の要因となる運動不足、肥満に関心を持たせ、継続的に身体活動を意識づけることを目的とする。	市内2か所のトレーニング室で自主的に運動をしている人に対し、保健師・管理栄養士が健康づくりや栄養についての講話・個別指導を通じ、3か月間支援を行う。	健康づくり課
4	筋力トレーニング事業	概ね20歳以上65歳未満の市民	若年層から、生活習慣病の要因となる運動不足・肥満に関心を持たせ、継続的に身体活動を意識づけることを目的とする。	市内2か所にトレーニング室を整備し、専門スタッフによる個人に合ったトレーニング指導を行う。	健康づくり課
5	地域さんかく塾	概ね65歳以上の市民	運動で身体機能の維持向上をはかる。また、地域の公民館で実施することで、地域の交流の機会が増え、閉じこもり予防になる。	体力測定2回。ストレッチ体操、筋力トレーニング、健康講話(栄養・口腔・認知症など)、レクリエーションを実施する。	高齢者支援課
6	メンズトレーニング	概ね65歳～74歳までの男性	男性が興味を持ちそうなマシントレーニングを実施することで、健康づくりのきっかけづくりと、継続した運動の実施を目的とする。	体力測定2回。マシン6機種、エルゴメーターを使用し、トレーニング方法を習得し実施する。	高齢者支援課
7	青空フィットネス倶楽部	概ね65歳以上の市民	市民の森公園に設置している健康遊具を使用した運動の方法や正しいウォーキングの方法を学ぶ。	健康遊具使用方法の学習、実施、ストレッチ体操、ウォーキングの実技を行う。	高齢者支援課
8	足腰ぴんしゃん塾	概ね65歳以上の市民	高齢者が筋力トレーニングを通して筋力をつけることにより、寝たきりになることを予防するとともに、健康で活動的な生活を送ることができることを目的とする。	高齢者を対象とした、踏み台昇降運動や筋力トレーニング、また、手軽にできるウォーキングについての講座と実技等の教室を実施する。体力測定を教室の前で実施し、効果を測定する。	高齢者支援課

筑後市スポーツ推進計画事業一覧

番号	行事名	対象者	事業の目的	事業の内容 (平成27年度)	課名
9	ロコトレ教室	概ね65歳以上の市民	介護のいらない身体づくりを目標に、自重筋力トレーニングを習得し、移動機能の低下を予防する。ホームプログラムの実施を促し、運動を継続してもらう。	体力測定2回。ストレッチ体操、筋力トレーニング、健康講話(栄養・口腔・認知症など)を実施する。	高齢者支援課
10	介護予防健康トレーニング	65歳以上の市民	マシントレーニングを実施することで、継続した運動習慣を身につけ、健康づくり・介護予防に資することを目的とする。	総合福祉センターと古川ふれあいいきいき館で実施するトレーニングジム。個別の運動プログラムに基づく介護予防機器を使用した運動指導を行う。	高齢者支援課
11	ちっこ健康隊 (介護予防ボランティア) 養成講座	概ね70歳以下の市民	介護予防事業の補助や地域で自主活動を支援するボランティアスタッフを養成するための講座	高齢者の栄養や口腔についての講座、認知症サポーター養成講座、生活支援ボランティア養成講座等を受講して、修了者は、ちっこ健康隊に登録し、介護予防事業へ携わってもらう。	高齢者支援課
12	県民体育大会夏季大会	選抜者等	市の代表選手を、県民体育大会夏季大会(水泳競技)に派遣し、入賞を目指す。	一般の部2人、少年の部22人の参加者を、会場へバスで送迎する。 士気を高めるために結団式を行い、出場選手に選手強化費を交付する。	社会教育課
13	筑後市民一斉ラジオ体操	誰でも参加可能	市内の全小学校でラジオ体操会を実施し、健康づくりと地域のコミュニケーションづくりに寄与する。	児童や保護者、地域住民等が参加し、市内11の小学校を会場に、ラジオ体操会を実施する。	社会教育課
14	県民体育大会秋季大会	各競技の市内大会優勝者、選抜者等	市の代表選手(チーム)を県民体育大会に派遣し、入賞と総合順位の向上を目指す。	陸上競技、バスケットボール、バレーボール、剣道、弓道、ソフトボール、テニスの7競技17種目に参加する選手人を、会場へバスで送迎する。 士気を高めるために結団式を行い、出場選手に選手強化費を交付する。	社会教育課
15	ニュースポーツ教室	誰でも参加可能	ニュースポーツに関する講習会を開催し、啓発と定着・拡大を目指す。	専門の講師を招いて、ウォーキングとノルディックウォーキングの正しい方法を学ぶ。	社会教育課
16	ちっこスポーツ フェスティバル	誰でも参加可能	体育の日にあわせて一斉に各種スポーツ大会を開催し、スポーツの振興、参加者の拡大及び競技団体の育成を図る。	グラウンドゴルフ、陸上競技、綱引き、少年サッカー、少年野球、万歩大会、テニス、卓球、ソフトボール等18競技を実施する。	社会教育課
17	ウォークラリー大会	誰でも参加可能	ちっこスポーツフェスティバルの一環として、レクリエーションの要素を取り入れたスポーツの啓発を行う。	地図を頼りに街を歩くウォークラリーの中に、3種類のニュースポーツや地域にちなんだクイズを取り入れて実施する。	社会教育課
18	市民ハイキング	誰でも参加可能	山の会の指導により、初心者だけでは不安の多い登山を気軽に経験し、健康づくりを目指す。	バスを借上げ、俵山(熊本県)で登山を実施する。帰途には現地の温泉で疲れを癒す。	社会教育課

筑後市スポーツ推進計画事業一覧

番号	行事名	対象者	事業の目的	事業の内容 (平成27年度)	課名
19	ラジオ体操講習会	誰でも参加可能	NHKテレビのラジオ体操指導者を講師に、ラジオ体操の理論と実践を学び、ラジオ体操の拡大を目指す。	市民を対象に、NHKテレビのラジオ体操指導者が、ラジオ体操の正しい動作と理論を指導する。	社会教育課
20	筑後七国ホークス野球教室	筑後七国で活動する軟式野球チーム	筑後七国の地域連携協定に基づき、筑後七国の子どもたちに野球への関心を高めてもらうとともに、ホークスファンの拡大を図る。	ホークスと筑後七国の各市町の地域連携協定に基づき、筑後七国の少年野球チームを中心とした野球教室を実施する。	ホークスファーム連携推進室
21	キャッチボールキャラバン	市内小学校11校の児童	ホークスとの包括連携協定に基づき、筑後市内の小学校をホークスOBや講師が訪問し、子どもたちに野球の楽しさを体験してもらう。	28年度からスタート。市内11小学校(合同開催あり)で実施。学校の校庭で生徒と一緒にキャッチボールやティーボールの講習・実技を行う。	ホークスファーム連携推進室
22	イエローホーク	市内18園の園児	ホークスとの包括連携協定に基づき、筑後市内の幼稚園・保育園を「ひな丸」「はね丸」が訪問し、友だちと一緒に体を動かすことの楽しさを体験する。	28年度からスタート。年に市内8園程度で実施。2年かけて市内全幼稚園、保育所を回る。園庭でキャラクターと園児たちが一緒に体操やゲームなどを行う。	ホークスファーム連携推進室
23	筑後ファーム野球教室	市内の軟式少年野球チームに所属している5～6年生	ホークスとの包括連携協定に基づき、HAWKSベースボールパーク筑後に子ども達を招いて、ホークス選手による野球教室を開催する。	28年度からスタート。ホークスのファーム選手達がコーチとなり、市内の軟式野球チームに所属する児童に野球教室を実施する。	ホークスファーム連携推進室
24	スタジアム等を活用した市主催イベントの開催	大会参加チームやイベント来場者	ホークスとの包括連携協定に基づき、スタジアム等を市民のスポーツ推進及び健康づくりの場として活用。様々なイベントをスタジアム等で実施し、球場の利用向上につなげる。	28年度からスタート。28年度は筑後市長旗杯争奪野球大会の開会式やちっこスポーツフェスティバルを実施する。	ホークスファーム連携推進室
25	高良山のぼり	老人クラブ会員	高齢者の生きがいと体力づくり及び会員同士の交流を目的とする。	高良山登り口から登山し、本堂と奥の院を参拝する。	老人クラブ連合会
26	野球観戦招優待事業	筑後市の小中学校に通う全児童・生徒、市民	ホークスとの地域連携協定に基づき、全小中学生及び一般(人口の5%程度)をホークス試合に招待し、野球を通じたスポーツ振興とファーム事業への関心を高める。	28年度は小中学生や応募者に1軍戦の招待券を配布。また、ファーム試合の招優待券を市事業の推進・啓発のために配布する。	ホークスファーム連携推進室
27	筑後市協賛試合	誰でも参加可能	ホークスの主催試合を「恋のくに・筑後市デー」として冠協賛することで、野球観戦者に筑後市を紹介するとともに、市民が野球観戦できる機会を提供する。	28年度は7月23日のジャイアンツ戦にて筑後市のPRや物産展を開催。また、市民限定ファンサービス付の招待券を募集・配布する。	ホークスファーム連携推進室

筑後市スポーツ推進計画事業一覧

番号	行事名	対象者	事業の目的	事業の内容 (平成27年度)	課名
28	スポーツ推進委員会事業	スポーツ推進委員	市民がスポーツにふれる機会をつくり、スポーツ振興と健康増進を目指す。	スポーツ振興のため各種イベントを企画し、スポーツ推進委員が直接指導を行う。 委員の資質向上のため、会議・研修を行う。 地域等で企画されたイベントの指導・運営を行う。	社会教育課
29	市町村対抗「福岡駅伝」	選抜者等	市の代表チームを、県大会に派遣し、入賞を目指す。	30.1 ^{キロ} 、9区間で行われる大会に、市の代表チームを構成して参加する。 合同練習を行い、出場選手には選手強化費を交付する。	社会教育課
30	トップアスリートから学ぶ青少年スポーツ教室	スポーツ少年団等	トップレベルの競技者やプロの指導者等から指導を受けることにより、技術や意識の向上、ひいてはスポーツの裾野の拡大を目指す。	アビスパ福岡とギラヴァンツ北九州のコーチを招き、年長から小学3年生までを対象にサッカー教室を開催する。	社会教育課
31	体育協会補助事業	体育協会加盟団体	体育協会加盟の各競技団体の組織強化を図るとともに、競技力の向上を図る。	市から補助金を交付し、体協加盟団体の育成・強化に関する事業の開催、各団体の事業への後援、総会等の会議開催、県民体育大会への選手派遣、スポーツ少年団の育成など、体育協会の事務局を担う。	社会教育課
32	学校開放事業	誰でも参加可能	学校の施設をスポーツ施設として市民に開放することにより、市民がスポーツをする機会を得て、スポーツを気軽に楽しむことができるようにする。	各小・中学校体育館、グラウンドを、社会人の団体を学校開放登録団体として登録し、年間を通じて夜間(20時～22時)に貸し出す。	社会教育課
33	平島直吉杯チャリティゴルフ大会及びスポーツ振興基金	誰でも参加可能	基金を活用し、その年のスポーツの全国大会や九州大会における上位入賞者を表彰することにより、競技スポーツの拡充を図る。	ゴルフ大会開催によりチャリティを集めて基金を充足し、全国大会、九州大会等の出場者に、出場祝い金や入賞記念品を交付する。	社会教育課
34	ラジオ体操講習会(指導者向け)	小学校の教員、地域のラジオ体操団体代表者	正しいラジオ体操の方法や理論を、学校や地域に広げる。	小学校の教員や地域のラジオ体操代表者等を対象に、NHKテレビのラジオ体操指導者が、正しい動作と理論を指導する。	社会教育課
35	子ども会ドッジボール大会	子ども会会員	各地域の子ども会が、ドッジボール競技に一齐に取り組むことにより、子ども会内の異学年交流や他の子ども会との交流を目指す。	トーナメントによるドッジボール競技大会を実施する。	子ども会連絡協議会
36	子ども会陸上・綱引き大会	子ども会会員	各地域の子ども会が、陸上・綱引き競技に一齐に取り組むことにより、子ども会内の異学年交流や他の子ども会との交流を目指す。	トーナメントによる綱引き大会を実施する。 陸上大会では、徒競走とリレー競技を実施する。	子ども会連絡協議会

筑後市スポーツ推進計画事業一覧

番号	行事名	対象者	事業の目的	事業の内容 (平成27年度)	課名
37	スポーツ少年団交流 ドッチビー大会	スポーツ少年団	スポーツ少年団各チームの交流を目指す。	スポーツ少年団加入の各チームが、ドッチビー競技で優勝を争う。	社会教育課
38	筑後市手をつなぐ育成会 軽スポーツ事業	手をつなぐ育成会に入会している学齢期(高校生以下)の知的障害児	体力維持及び育成会会員の交流	会場は総合福祉センター研修室で、ルールがあるスポーツのようなボール運動ではなく、リズムに合わせて体を動かしたり触れ合うような運動を主に行う。	福祉課
39	グラウンドゴルフ大会	老人クラブ会員	高齢者の生きがいと体力づくりを目的とする。日頃の練習成果を発揮し、地域との交流を図る。	春と秋に、各350人ほどの参加者で実施。2ラウンド、16ホール、前送り方式で行う。	老人クラブ連合会
40	ゲートボール大会	老人クラブ会員	高齢者の生きがいと体力づくりを目的とする。日頃の練習成果を発揮し、地域との交流を図る。	春と秋に、各35人ほどの参加者で実施。4戦方式、勝敗で順位を決定する。	老人クラブ連合会
41	ペタンク大会	老人クラブ会員	高齢者の生きがいと体力づくりを目的とする。日頃の練習成果を発揮し、地域との交流を図る。 ニュースポーツの普及を図る。	春と秋に、各120人ほどの参加者で実施。3戦方式後、勝敗、得失点差で順位を決定する。	老人クラブ連合会
42	老人クラブ運動会	老人クラブ会員	高齢者の生きがいと体力づくり及び会員同士、地域間の交流を目的とする。	競技は11種目。12校区を3グループに分けて実施。校区別に順位をつける。	老人クラブ連合会
43	シニアソフトボール大会	老人クラブ会員	高齢者の生きがいと体力づくりを目的とする。日頃の練習成果を発揮し、地域との交流を図る。	筑後クラブ会員を中心にメンバーを構成。2チーム作り、紅白戦を2回行う。	老人クラブ連合会
44	ダンスパーティー	老人クラブ会員	高齢者の生きがいと体力づくりを目的とする。日頃の練習成果を発揮し、地域との交流を図る。	フォークダンスの練習成果を発表する。	老人クラブ連合会
45	健康づくり地域交流 フェスタ	誰でも参加可能	スポーツやゲームを楽しみながら、世代間交流を行う。	アビスパ福岡のコーチによる指導を受け、ボールを使ったゲームを楽しむ。	社会教育課
46	ちっごマラソン大会	誰でも参加可能	市民の健康づくりとスポーツ振興、市のPRを目指す。	ハーフマラソン、6 ^{キロ} 、2 ^{キロ} 、健康マラソンの5部門を実施。ゲストランナーを招き、講演会や実技講習も行う。 陸上競技関係者、高校生、地元行政区、PTA等多数のボランティアの協力により運営する。	社会教育課